

ロゼ

文化情報誌 ロゼ

Art information of Fuji city **Vol.21**
AUTUMN
Culture Magazine ROSE **1997**

秋号



vol.21



ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 1997年10月発行 (第21号)
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416 富士市蓼原1307番地の8 TEL (0545) 60-2510(代)
企画・編集・制作 (財)富士市文化振興財団事業課広報係 アドスペース エービック株式会社



ドイツ最古の放送交響楽団

ベルリン放送交響楽団

ドイツ・ロマン派の巨匠、J・ブラームスの没後100年にあたる今年、ロゼシアターの開館記念日の11月1日、大ホールにおいて、ベルリン放送交響楽団によるブラームスプログラムを開催いたします。この公演を前に同交響楽団と首席指揮者ラファエル・フリュベック・デ・ブルゴス氏のヨーロッパでの演奏活動の近況を、ドイツ・ケルン市在住の内藤間喜さんにレポートしていただきました。また公演を前にF・デ・ブルゴス氏と、日本を代表するヴァイオリニスト・前橋汀子さんに、ロゼ公演によせるメッセージをいただきました。

ブラームス没後100年記念の今年、 十一月二日ロゼシアター大ホールに ブラームスが甦ります。

「ブラームスの音楽により、忘れがたい芸術の素晴らしさを、堪能していただけることを確信しております。」

ベルリン放送交響楽団（RSB）は、一九二三年十月二十九日に誕生、オイゲン・ヨッフム、セルジユ・チェリビダツケ、ハインツ・レグナー等も首席を務めたドイツ最古の放送響です。

RSBの一九九七〜九八年のシリーズは三十五の演目で六十回のコンサートを予定しています。このうちベルリンで四十回、十一月の五回目は日本ツアー（十都市）も大きな催しの一つです。RSBは放送オーケストラと交響楽団という二つの機能をもつため、ツアーのほか百四十回のドイツランド放送及び各種のCD録音の演奏がありライブ放送と録音は欧州各国に放送されています。一九九八〜九九年のシリーズはドイツ国内とカナダツアーが予定され、F・デ・ブルゴス氏は三十二回のコンサートで指揮をします。このうち十六回は日本ツアーとシユレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、それにラインガウ音楽祭出演によりです。

今シーズンは、富士公演のプログラムであるブラームスを中心にモーツァルト、ベートーベン単独でプログラムを組んでいるほか、メンデルスゾーンの「パウルス」、ベルデイの「クアットロ・ベッチ・サクリ」、ドビッシの「三つのノクターン」が特徴的です。ベルリンの幕開けは、ホアキン・ロドリゴ、イエズス・グリダイのオーケストラ歌曲で開始します。一月には例年多大の反響があるスペイン物を重点としたレパートリーで、ルイス・デ・バヅロを取り上げます。

F・デ・ブルゴス氏は一九九一年四月七日に初めてRSBの指揮台に立ち、一九九四〜九五年度のシーズンより首席常任となりました。同氏はドイツ人の血統（ラファエル・フリュベック・デ・ブルゴス氏からのメッセージ）

RSB
RUNDFUNK
SINFONIEORCHESTER
BERLIN

Liebe Konzertfreunde in Fujii

Es ist mir eine große Ehre,
mit meinem Orchester, dem
Rundfunk-Sinfonieorchester Berlin,
am 1. November 1997 in Ihrer Stadt
musizieren zu dürfen.
Ich bin gewiß, Sie werden einen
unvergesslichen Kunstgenuß mit der
Musik von Johannes Brahms haben.

Ihr

Rafael Frühbeck de Burgos



親愛なる富士市のコンサート愛好者の皆様方へ！
1997年11月1日に皆様方の都市にて私のオーケストラ——ベルリン放送交響楽団と演奏できますことは、誠に光栄です。皆様がヨハネス・ブラームスの音楽により忘れがたい芸術の素晴らしさを堪能していただけるであろうことを確信しております。

トラの首席を務め、その後デュッセルドルフシンフォニーカー、モントリオール・シンフォニーオーケストラの首席、読売日響、ワシントン・シンフォニー・オーケストラの首席客演など、全世界ですべてに百以上のオーケストラで指揮をしています。またマドリッド、デュッセルドルフ、ワシントン、チューリッヒなど各地でのオペラ公演の他、百枚以上のレコード・CDの録音があります。この中でフィル・ハーモニア・オーケストラ・ロンドンとの「カルミナ・ブラーナ」や「カルメン」、そして世界で最初のファリア全オケ作品録音は高く評価されました。一九九四年にはナバラ大学哲学部より名誉博士号を授与されました。その他、オーストリアの芸術と文化に関する名誉賞をはじめ、今年二月二十四日には「ハチント・グエレロ賞」をスペイン女王より授与されました。

F・デ・ブルゴス氏とRSBのコンビによるスペイン物は常に聴衆とマスコミを沸かせてきました。一九九四年のファリア、トゥリーナ、九五年のクラウディオ・プリアエトの「イベリア狂想曲」初演は大成をおさめました。九六年はロレンツォ・バロモの新曲、「ギター協奏曲」、九七年にはラベルのバレエ曲、「ダフニスとクロエ」の全曲演奏で好評を得ました。ラベルはフランス国籍をもつものの、彼の母はスペイン・バスク地方出身で、感情、芸術内容の故郷はスペイン的と言えます。今年五日のアリシア・デ・ラローチャとのスペイン五都市での共演ツアーは、このスペインレパートリーにより大成功でした。

（編者） Rundfunk Sinfonieorchester Berlin
Stefan Georgi
Dr. Rafael Frühbeck de Burgos
レポート 内藤 間喜

新しいCD（「感傷的なワルツ」）の録音を終えてホッと一息。この秋は、ラファエル・フリュベック・デ・ブルゴスさん指揮のベルリン放送交響楽団との協演が続きます。曲は私の大好きなブラームスの協奏曲。11月1日富士ロゼシアターで皆様とお目にかかれることをとても楽しみにしております。

前橋 汀子

※ RSB、F・デ・ブルゴス、前橋汀子のコンビは10月12日ベルリンコンサートハウスでブラームスプログラムを演奏します。



篠山 紀信

一九九七年十一月一日、ロゼシアターの大ホールはブラームス一色に染まります。F・デ・ブルゴス氏がいう「ブラームスの音楽と共に芸術の喜びを堪能できるコンサートに」、さらには前橋汀子さんが大好きというブラームスの協奏曲。

ロゼ誕生四年目の記念日は文字どおり最高の音楽が奏でられることとなります。



左から瀬尾麗さん、大西雄二さん、加藤洋之さん、インゴ・デ・ハースさん、岩本忠生さん、山田百子さん

E · N · S · E · M · B · L · E

アンサンブルの魅力

アットホームな ダルムシュタット・アンサンブル

今年シューベルト生誕200年。ロゼシアターではこれを記念して8月1日、ダルムシュタット・アンサンブルによるオールシューベルトプログラムを開催しました。ダルムシュタット・アンサンブルは、室内楽の本場ドイツで活躍されている邦人音楽家を中心にしたユニットです。今回メンバーの方々にコンサート直前の時間をいただき、海外で活動が続ける皆さんならではの音楽観、またアンサンブルの魅力について、和やかな雰囲気の中お話を伺いました。



日本とヨーロッパの音楽事情

岩本 ● 僕なんかと思うのは、ヨーロッパの方が日本に比べて音楽というものがとても身近な気がします。音楽を聴くという楽しみももちろんあるけれど、それ以上に演奏する楽しみ、歌う楽しみという音楽に参加する部分での楽しみ方がずいぶん違うように思います。日本の場合クラシックというと、お勉強が大切という部分があるようです。日本では一生懸命音楽の勉強をしますが、ヨーロッパに行きますと、すべて楽しむということになるんですよ。音楽を「play」することはドイツ語で「spiel」（シュピール）、子供が公園で遊ぶのと同じことなんです。大西 ● そうですね。僕がまずブレイヤーとして感じるのは、音の出し方が違うという点です。音楽は技術的な部分があるから、そういうところは当然学ばなければいけないけれど、一番大切なのはやはり楽しむということなんです。それが日本に比べると、いかに楽譜に正確に弾けるかというふうになってしまう。だからどんな音色を出すのかということをおまわり考えないんです。



岩本忠生さん (チェロ)



大西雄二さん (コントラバス)

岩本 ● 本当に運なんです。そんな昔に作られたものはいたいがイタリアの楽器なんです。ここにある楽器は全部そうなんです。数も決まっていますし、それがもう世界中に散らばっているんです。ストラディヴァリウスにしてもそうですけど、当然偽物も出てきます。本物に出会えるってことはお金を積んでもそうそうあるわけじゃありませんからね。ですから、これを壊してしまったり、三百年の文化遺産を私が壊してしまつたことになりません。

瀬尾 ● もう自分だけのものというわけにはいかないんです。自分が使つてそれをまた、次の世代に渡さなければいけないんです。

ダルムシュタットの音とは

大西 ● そうですね。やはりアンサンブルだから縦の線が合わなければいけないとか、音程が合わなければいけないとかはもちろんなんですけど、ダルムシュタットの場合は岩本さんを中心にした音の揺れっていうのがあるんですよ。息づかいっていうのかな？それが自然に五人なら五人の中で感じあってやれるって

ドイツにいて学んだのが、やっぱり音楽は楽しまなければ、損だなど。楽しむことによって、この空間にどれだけ自分での音を出すかっていうのが大きな喜びになるんです。あとは、個性の集まりがアンサンブルだと思っんです。理想はねドイツなんかじゃみんな音楽で言いたいこと言うんです。それで言いたいこと言うって、それがオーケストラだったりカルテットだったりとその中で個性を主張しあって、そしてだんだん収めていって一つの大きな物をつくっていくんです。それが日本の場合だと最初からまわりの音に気にしながら演奏しているんです。

地方公演での聴衆の反応

岩本 ● 日本の場合、地方に行けば行くほどドイツに近い感じがします。都会の聴衆はすぐくまじめに聴いてくれますが、地方では好きなように聴いてくれます。東京の聴衆が特殊なんですよ。弾く側から言いますとね、なかなかこう乗ってくれないですよ。だからどうかすると僕らだけで楽しんでちゃってね。

瀬尾 ● 冷やかな耳で聴かれちゃったりして……。どっかで失敗するんじゃないだろうかとかね、そういう批判的な目を感じたりします。

岩本 ● だからステージに出てつて最初の音を出した時にすぐにとけ込めることが多いのは東京以外の街ですね。そしてそれは僕らが日本に毎年帰るようになって、十六年十七年になります、その間いつも感じています。

ドイツでも多少、大都市と地方とで聴衆の雰囲気違いますね。でもベルリン

うそれが特徴といえます。

岩本 ● 大西さんはいつもそう言ってくれるんだけど、実際そういう人達が自然に集まつたっていう感じなんです。ハース ● たまたま今日は日本人が五人と自分だけドイツ人ですね。私はまだ日本語もあまり出来ないけれど、音楽は言葉に関係無くそれ自体がコミュニケーションの手段なんです。国境を越えて、人類の持つ文化として私達がまったく同じように共有できる、音楽とはそういう言葉以上の何かです。

ライブは真剣勝負

岩本 ● こんな素晴らしいホールが揃っていて、素晴らしいお客様がいらつしゃって、そうなら後は演奏家の責任です。(笑)

いつも来てくださるお客様で「一昨年のあの曲はよかった」なんていわれちゃつたりして。(苦笑)こちらとしては毎回「今年のは良かった」つて言われる方がいいですね。本番直前まで笑っているんですけど、ステージに出ていくとやっぱりね。ライブは真剣勝負ですから。**大西** ● でもそれが一番楽しい表情をする瞬間でもあるんですよ。

岩本 ● 私達のコンサートはただ聴衆に音楽を聴いていただくことではなく、来ていただいたお客様がいかにかすばらしい時間、すばらしい空間を私達といっしょに共有しあえるかなんですよ。今回のステージもきつと満足いただける演奏会になると思います。



インゴ・デ・ハースさん (ヴァイオリン)



瀬尾麗さん (ヴィオラ)



取材後の熱の込められた演奏、聴衆との一体感を共有

演奏会後、ロゼシアターに一通のフィックスが入りました。岩本さん、瀬尾さんはじめダルムシュタット・アンサンブルの皆さんからのメッセージでした。「今回のツアーでロゼのホールの音響は日本で演奏した全ての会場で一番良かった。そしてオーガニゼーションも一番良く満足していた……。」と。



ブラームス没後100年の年にあたり
オーストリアで発行された記念切手

「ブラームスの四つの交響曲」
ロゼシアターと共同で日独高校生のクラシック音楽に関するアンケート調査を行なった。高校生の中でブラームスの人気は今一つだったが、昨年の音友ベストテン調査では「好きな交響曲」「好きなクラシック曲」ともブラームスの交響曲第一番が一位だった。投稿に投稿を重ねてきたこの曲は完全すぎているという声も聞く。頑な努力の結果が日本人の心を捉えるのかもしれない。四つの交響曲で「第一番」と他の三曲には決定的な違いがある。「第一番」には作品形成上個人的な音楽的格闘の跡が見られるのに対し他の三曲は各々の発展過程完了を示す音楽になっている。友人ビルロートは「頑さ」と「憧れ」で彼の曲を表現した。四曲の発展過程で「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

交響曲第一番の成り立ち

ペリリーが浦賀に来航した一八五三年、二十歳のブラームスはシューマンを訪ねる。「ピアノソナタ五番」を「カムフラージュされた交響曲」と評されるが才能を認められる。シューマンは同年十月二十八日付「音楽新報」に論説「新しい道」を発表、新時代の巨匠とブラームスを紹介する。公の賞賛はブラームスをさらに慎重にさせる。一八五四年三月「第九」を聴き形式を打破する巨人ベートーヴェンの力を再確認、交響曲への内的要求を高める。四月には「二台のピアノのソナタ」を交響曲にする試みをする。一八五五年シューマンの最も優れたオケ作品と言われる「マンフレッド序曲」に感激、「第一番」の一部を構想する。一八五七年デトモルト宮廷楽団の指揮によりオケの持つ可能性や限界を実地体験する機会を得る。二曲のセレナーデをオケ用に作



交響曲第一番が初演された1876年の
ウィーンにおけるブラームス
(フリッツ・ルックハルト撮影)

ブラームスと
交響曲第一番

内藤開喜

ブラームスの四つの交響曲

「交錯する女の愛と男の義」
河野 その意味ではタイトルの「名残りの小袖」もそうした男女の対立・親子の立場を象徴しているとも言えますね。
丸茂 これは能や狂言の「小袖曾我」からの発想ですが、兄弟が討ち入りの際母親から小袖をもらいそれを晴れ着として討ち入ったということになってるんですね。しかし、母親は子供たちが死ぬことを知っていて小袖を渡さずどうするかという疑問が残ります。直接的には母との別れを意味しますが、ここでは子の母からの自立、生きる目標を持ちにくい時代



▲小野 肇
(富士市文化振興財団
常務理事)

この作品から生まれる
新しい市民文化の流れ

河野 その通りですね。今回の企画でそうした技術を修得すれば次回に大いに役立ちますし、市民同士やプロの皆さんとのネットワークも生まれます。それと皆さんの協力で公演が成功をおさめれば、例えば「曾我物語」に縁の深いお隣富士宮市での上演なども浮上してくるでしょう。実現すればこれは市民文化交流として大いに意味のあることだと思います。
丸茂 小田原市なんかもそうですし、「曾我物語」に関連する市町村だけでも五、六ヶ所はあると思いますよ。

小野 今のお話ですが、市内に目を転じますと、地元の鷹岡地区ではこの企画をまちづくりに取り入れようという話も

多くの市民の皆さんの
情熱で舞台づくりを

河野 さて、この脚本を中心に据えて出演者、舞台スタッフや裏方さんなど参加される皆さんの情熱を推進力にして来年の十一月一日を目指すわけですが、とにかく多くの方々にこの企画を知っていただき参加をお願いしたいと思いますね。小野 この企画は、皆さんにとってまたとないチャンスだと思います。例えば舞台美術やメイクなど、プロの方の指導をいただくわけですから、いい勉強の機会だと思えます。

をいかに生き抜いたかという象徴として小袖をタイトルに用いました。



ブラームス自身が自作品の中で一番気に入っていた交響曲第四番初演のちらしプログラム。1885年10月25日(日)16時30分、マイニンゲン公爵宮廷劇場にて開演。ブラームス本人の指揮。

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

ベートーヴェンとブラームス

指揮者ビューローは本曲をベートーヴェン以降最初の重要作品という意味で「交響曲第十番」と呼んだ。「ハ短調」の調性、

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

◆ 演出家紹介



三浦さんは、主にミュージカル作品の演出・振付を中心に活躍している若手のホープです。また俳優や声優として舞台やテレビ等多方面でその才能を発揮しています。

PROFILE

北海道芦別市出身。1958年5月25日生まれ。日本工学院演劇科卒。演技術を賀原夏子、モダンダンスを本田重春、タップダンスを荻野幸久、バントマイムを平賀誠吾、ジャズダンスを浦部日佐夫、坂上道之助、永恵春芳に師事。現在、俳優として活躍すると共に演出家、振付師としてミュージカルや演劇、映画、テレビ等で活躍中。
主な演出、振付には「播磨のむかし話」(姫路市)「麗しのサブリナ〜三姉妹物語」(明治生命オリジナルミュージカル)、「島根県民音楽祭ミュージカル/学校ネズミのコンサート」(太田市)、「眠れる森の美女」(カゴメ劇場)ほか多数の作品を手掛けている。

三浦克也さん

出ているようです。
河野 その意味でもこのミュージカルは、今後財団と市民とが共同で作り上げていく事業の試金石になると思えますよ。
丸茂 小規模でも構いませんから、自主的にこうした企画をやってみたいという人達が出てくればしめたものですね。
河野 それに対して受け皿としての財団がどこまでサポートできるのか...。その辺りのシステムが確立すればこれは市民文化の向上に大いに役立ちますよ。
小野 財団としても、市民参加事業として真正面から取り組む最初のものと言えます。未知の部分が多々ありますが、皆さんと共に学習しながら公演を成功に導きたい思います。船は出航したばかり。どうか皆さんのお力添えで、順風満帆の航海となりますよう協力をお願いします。本日はありがとうございます。

と仇討ちを遂げるつもりで、常に兄に接近し兄を助け一緒に仇討ちをするよう説得していた。母満江御前はそうとは知らず、十郎の軟弱さや五郎の自堕落な生活ぶりを見て、落胆する一方、仇討ちを放棄したと思込み喜ぶ。十郎はとら御前にも仇討ちは無駄な行為だと諫められたがきかない。
十郎・五郎の兄弟は、一党、若衆組、世間の期待を受けて仇討ちの機会をうかがう。頼朝の富士表での巻狩りを知った二人は、五月下旬のある夜、母を訪ねそれとなく別れを告げる。勘当中の五郎は家の外に佇む。十郎は狩りの晴れ着に母の小袖が欲しいと請う。母はそれが死出の小袖となることを予感しつつ与える。
討ち入りが近いと予感した満江御前と、厚原の石橋で偶然出会う。そこで兄弟が工藤祐経を討ち、共に命を落とすという聞いてあせんと佇む。

(協力)
Brahms-Museum Mürzzuschlag
Österreichische Johannes Brahms-Gesellschaft
Mag. Elisabeth Fuchs, Ronald Fuchs
Dr. Barbara Schönfeld
Johanna Tüntscht, Liebfrauensschule Köln

マンドリン製作・演奏家
内藤開喜

Yasuyoshi Naitoh ● PROFILE
富士市出身。現在ドイツ・ケルン市在住。海外のさまざまな文化情報を新しい切り口で取材し、レポートを送っていただいています。

	富士市	ケルン市
対象者	97人	69人
楽器を演奏する	62人	52人
クラシックが好き	56人	52人
好きな作曲家	1位 ヨハン・セバスティアン・バッハ 2位 フランツ・リスト 3位 フリッツ・ルックハルト 13位 ブラームス	1位 モーツァルト 2位 ベートーヴェン 3位 ヴィヴァルディ 4位 ショパン 13位 ブラームス
好きな曲	別れの曲(ショパン) 白鳥の湖(チャイコフスキー) カラン(ヴァルヘルム) ボレロ(ラベル)	魔笛(モーツァルト) 四季(ヴァグネル) 交響曲第3番(シューマン) 交響曲第4番(ベートーヴェン)
好きな理由	聴いていて気持ちが良い 美しい曲だから 書き手が 思い出す曲 名曲だと思 うから	美しい音楽だから 美しい曲があるから 楽しい曲で演奏でき るといふ誇りがあるから 作曲家が哲学的アイデアを よく表現しているから 感情、緊張をうまく表現して いる

富士市の高校生(15~18才)とケルン市のギムナジウム生徒(9~20才)の聴くクラシック音楽比較

ROSE THEATRE · EVENT CHECK LIST

1997年11月・12月・1998年1月の催し物のご案内
 財団自主事業をはじめ、一般賛助事業を含めたスケジュールです。

INFORMATION

1997 11 NOVEMBER

日	曜日	ホール	イベント
1	土	大	ベルリン放送交響楽団
		中	富士地区高校演劇合同発表会
		小	平成9年度富士市長表彰式
2	日	大	THE ALFEE コンサート
		中	富士地区高校演劇合同発表会
		小	錦心流琵琶全国一水会岳南支部昇伝披露大会
3	月	大	第一生命沿津支部25周年記念ミュージカル
		中	富士市立ふじやま学園創立30周年記念行事
		小	富士市教育文化奨励賞表彰式
5	水	小	ジャズクラブ例会「タイムファイブ・コンサート」
6	木	大	平成9年度第17回富士市民大学
		小	吉原一・伝法小・吉原小三校合同PTA講演会
8	土	中	富士市民合唱団第20回演奏会
		小	ピアノ発表会(金田千春)
9	日	大	ネットワークマーケティングセミナー
		中	和光会創立50周年記念大会
		小	ピアノ発表会(後藤由香里)
10	月	大	吉原高等学校芸術鑑賞会
		中	平成9年度富士市地域社会貢献者褒章表彰式
13	木	大	平成9年度第17回富士市民大学
		小	吉田世子先生講演会
14	金	中	第25回富士市社会福祉大会
		小	まちづくり推進のつどい
15	土	大	富士市立田子浦中学校文化発表会
		中	第48回伝法保育園生活発表会
		小	第3回マーガレット・デュオ・コンサート
16	日	大	曙幼稚園生活発表会
		小	第26回静岡県婦人合唱祭
18	火	大	★市村ひろみ声楽コンサート「日本のうた」
		中	第2回富士市老人クラブ文化祭
		小	★世界を繋げる和太鼓の響き「天野宣と阿羅漢」
20	木	大	平成9年度第17回富士市民大学
		小	社会保険委員会大会
21	金	大	長山洋子歌謡ショー
		小	吉川二郎ギター・リサイタル
22	土	中	富士市医師会創立50周年記念式典・講演会
		小	富士マンダリンクラブ第14回チャリティコンサート
23	日	大	須津幼稚園生活発表会
		小	ピアノ発表会(平田和子・早登美)
24	月	大	富士宮市民合唱団第14回定期演奏会
		中	静岡日産自動車第30回労組大会
		小	ピアノ発表会(仁藤歩)
26	水	中	旭化成工業中研群総合研究発表会
		小	TEPCO ふれあいツアーコンサート
27	木	大	旭化成工業中研群総合研究発表会
		中	富士東高等学校演劇鑑賞会
		小	アレクセイ・竹ノ内ピアノリサイタル
29	土	小	富士中央ライオンズクラブ10周年記念式典
		小	ロゼシアターコンサート第2夜 山形道真(フルート)
30	日	大	わかば幼稚園生活発表会
		中	第14回ふるさと芸能祭
		小	ひろ歌謡教室発表会

1997 12 DECEMBER

日	曜日	ホール	イベント
4	木	大	歌謡ショー
5	金	小	ピアノ・エレクトーン発表会(伊藤茂子)
6	土	大	するが幼稚園発表会
		小	富士中央幼稚園生活発表会
7	日	大	富士フィルハーモニー管弦楽団第17回定期演奏会
		中	第21回みのおんがく会
		小	ロゼシアターコンサート東京ギターカルテット
13	土	中	高木産業第28回QC決勝大会
		小	パンピー・ヴォーチェコンサートVOL.2
14	日	大	富士リズム音楽会
		中	第18回PL静岡1MBA/パト発表会
		小	ピアノ発表会(福沢ピアノ教室)
16	火	大	川中美幸ショー
17	水	中	富士山三女会民謡津軽三味線
		大	富士交響吹奏楽団第50回定期演奏会
20	土	中	ふじのくに舞台芸術フォーラム'97参加演劇「羊の大陸」
		小	クリスマスコンサート
21	日	中	ふじのくに舞台芸術フォーラム'97参加演劇「羊の大陸」
		小	ピアノ・エレクトーン発表会(渡井麻理)
23	火	大	★劇団ビッカリ座ぬいぐるみ人形劇
		小	ピアノ発表会(松本尚子)
24	水	小	中学校アンサンブルコンテスト東部大会
25	木	小	エレクトーン・ピアノ発表会(加藤・斉藤)

1998 1 JANUARY

日	曜日	ホール	イベント
10	土	中	ロータス静岡新春のつどい
		大	第50回静岡県書道連盟富士地区書きぞめ表彰式
11	日	中	平成10年富士市消防初め式典(雨天時)
		小	ピアノ発表会(館あゆみ)
15	木	大	平成10年富士市成人式
16	金	中	第一生命新年支社大会
17	土	中	子どもエコーブリアシア会議
		小	邦楽への誘い1
18	日	中	池坊富士支部新年総会
		小	ロゼシアターコンサート秘野弘毅(イオリン)コンサート
20	火	大	MIN-ONタンゴシリーズ<29>
		小	医療法人社団衛生会新富士病院10周年セレモニー
24	土	大	リトル・エンジェルズ日本公演'98
		小	かやはら音楽教室発表会
25	日	大	黒夢コンサート
		中	能公演
		小	かやはら音楽教室発表会
27	火	大	岳南法人会チャリティーコンサート
		中	第22回富士地区私立幼稚園PTA研修大会
28	水	小	第31回ロゼ寄席
		大	聖書講演会
31	土	大	ピアノリサイタル(長洲琴美)

展示室のご案内

展示期間	展示室	備 考
11/6~8	特別	刺しゅう展
11/9	一般 特別	和光会50周年記念大会 茶席
11/13~16	特別	第1回爽気会展
11/21~24	一般 特別	第2回颯風会書展
11/26~27	一般 特別	旭化成工業中研群総合研究発表会
11/29~30	一般	第4回エンジョーDIY大賞入選作発表展示会
12/2~5	特別	富士ガラスアカデミー作品展
12/6~9	一般 特別	第2回由静源画展
12/13~23	一般 特別	静岡県芸術祭美術部門優秀作品展
1/10~11	一般 特別	第50回静岡県書道連盟富士地区書きぞめ展
1/12~14	一般 特別	第2回富士市老人クラブ文化祭
1/15	一般	水彩画展
1/17~20	一般 特別	席書・技術家庭科作品展
1/23~26	一般 特別	学校給食展
1/31~2/1	一般 特別	小中学校図工美術展

※一般賛助事業については、平成9年9月上旬までの受付分です。
 各ホールでのイベントや展示などの日程は変更になる場合があります。
 □はロゼシアター主催事業 ★印は、ロゼ・チケットセンター
 窓口でもチケットを取扱う予定のものです。

ここが見どころ イベントガイド



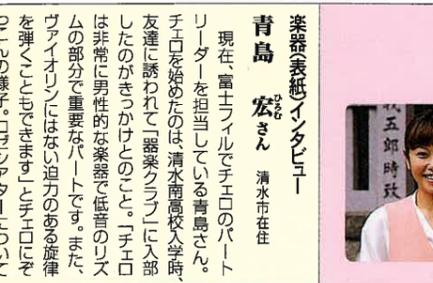
前橋汀子 R.F.テ・ブルゴス

～プラームス没後100年記念プログラム～
ベルリン放送交響楽団
 ●11月1日(土) 大ホール
 ●指揮/ラファエル・ブリューベック・テ・ブルゴス
 ●ヴァイオリン/前橋汀子
 ●開場/18:30 開演/19:00
 ●入場料/S席8000円 A席7000円 B席5000円
 学生2500円(全席指定)
 Program/大学祝典序曲Op.80
 ヴァイオリン協奏曲二長調Op.77
 交響曲第1番八短調Op.68



青島 宏さん 清水市在住

楽器表紙インタビュー
 現在、富士フィルでエロのパートリーダーを担当している青島さん。エロを始めたのは清水南高等学校時友達に誘われて「器楽クラブ」に入部したのがきっかけのこと。エロは非常に男性的な楽器で低音のリズムの部分で重要なパートです。また、ヴァイオリンにはない迫力のある旋律を弾くこともできます。エロにそのころの様子、ロゼシアターについて「とてもよく響くホールだと思っています。それにスタジオで演奏していて、もきれいで気持ちがいい」となかなか好印象のようですね。
 今後はオーケストラにももちろん小編成のアンサンブルにも挑戦したい、と抱負を語ってくれました。



「レポート初体験」

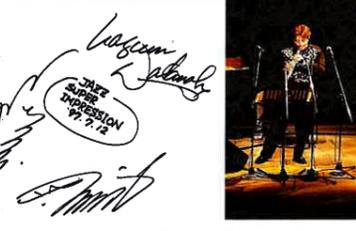
先日、ケーブルテレビ番組「ロゼシアターガイド」の撮影で、ロゼシアターへ行って来ました。私は「レポート」という役目だったので、いざカメラの前になるとセリフを忘れてしまいました。他のスタッフに大変迷惑をかけてしまいました。原稿を読むだけのことがこんなに難しいとは思いませんでした。(F子)

チケットのお申し込み・お問い合わせは
ロゼ・チケットセンター
 ☎0545-60-2500 受付時間 9:00~19:00

すみや 富士本町店 ☎(0545)63-2233
 富士中央店 ☎(0545)60-4567
 富士市民センター ☎(0545)61-6262
 ラホール富士 ☎(0545)53-4300
 チケットセンター 吉原店 ☎(0559)61-2405
 カワセ書店 吉原店 ☎(0545)51-9027(代)
 鷹岡店 富士宮大宮店 ☎(0544)24-0255(代)
 富士宮宮原店 ☎(0544)24-7160
 タンザ楽器富士支店 ☎(0545)52-1586
 ユニサービスカウンター 吉原店 ☎(0545)51-9027(代)
 三島g(アイジー) ☎(0559)73-3003



EVENT REPORT



宮本文昭(オーボエ)・山下洋輔(ピアノ)・渡辺香津美(ギター)のスーパートリオが繰り広げた、力強く時に優しいセッションに、客席とステージが一体となって盛り上がりました。

三人の天才がうまくからみあって極上のステージになった。この場に居られたことに感謝したいです。

(富士宮市二十四歳男性)

●舞台のライトは朝陽の光東、その中に点在するミステリアスな時空、香津美のアカousticティックギター、宮本のオーボエの繊細な音色に洋輔の力強くジャズ化されたサウンドが絶妙なスパイスになっていた。(沼津市四十歳女性)

●とても胸の熱くなるひとときを過ごすことができた。トリオのアルバムなど作ってほしいと思います。(静岡市三十歳女性)

●初めてジャズを聴いて感動しました。三人が全身を使って演奏していたのがとても印象的でした。(富士市三十歳女性)

ロゼでは三回目となる「百物語」。毎回観に来ているといふ常連さんもいて、三回ともチケットは完売という人気公演。夏休み最後の夜、ヒヤッとしたい思いで帰られたお客様も多かったのではないのでしょうか。

白石加代子「百物語」第三夜 八月三十一日



「百物語」というのも、もったいない場面もあり、面白かったです。(清水市二十八歳女性)

●毎回楽しみにしています。はつきりした言葉、良く通る声、朗読の勉強を少ししています。そのため、いつの日か自分の老後に吹き込むのが夢です。(富士市五十歳代女性)

●「百物語」というのも、もったいない場面もあり、面白かったです。(清水市二十八歳女性)

●「百物語」というのも、もったいない場面もあり、面白かったです。(清水市二十八歳女性)

VOICE

●怖かったです。言葉がこれほどの力を持つとは思いませんでした。言葉という言葉は本当にあるんですね。

●今で三回目。いつも語り口り上手さで不思議な世界へ入りこんでいます。第四夜以降もなるべく早く聞きたいと思っています。(富士市十六歳女性)

●怖かったです。言葉がこれほどの力を持つとは思いませんでした。言葉という言葉は本当にあるんですね。



公演レポート

ジャズ・スーパーインプレッション 七月十二日(日)

TICKET PRESENT

チケットプレゼント当選者発表



前号でお知らせしました「ロゼ」創刊二十周年記念チケットプレゼントに多数の応募をいただきました。ありがとうございます。厳正なる抽選の結果、以下の方が当選されましたので発表いたします。

ロシア国立ポリシヨイバレエ団
 渡辺 徳子さん(富士市大淵)
 和田 乃里恵さん(富士市厚原)
 後藤 徳子さん(富士市境)
 鈴木 和枝さん(富士市比奈)
 門西 陽子さん(富士宮市万野原新田)
 ベルリン放送交響楽団
 横山 勇さん(富士市今泉)
 池田 将章さん(富士市水戸島本町)
 市川 奈都子さん(富士郡芝川町)
 柏木 礼子さん(富士宮市田中町)
 露木 歌子さん(沼津市庄栄町)
 おめでとうございました

～インターネットホームページ開設のお知らせ～

9月17日から、ロゼシアターのホームページを開設しました。ロゼシアターで行われるイベント情報や館内施設の紹介など盛りだくさんの内容です。また、「トピック」のコーナーでは、公演の最新情報や創作ミュージカルの制作過程なども掲載していきます。みなさんとロゼを結ぶホットラインとして今後このホームページを育てていきたいと思っています。みなさんからのご意見・ご意見もお待ちしております。

ロゼシアターホームページのアドレスは
<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~rose/>
 e-mail rose@city.fuji.shizuoka.jp

お問い合わせ
 ロゼシアター広報係
 TEL.0545-60-2513